

風水害に備える ～まずは我が家でできること～

① 風で飛ばされやすいものは置かない

外回りには飛ばされやすいものを置かない。固定できなければ屋内に取り込む。

② 飛ばされやすいものの補強をする

アンテナや煙突、庭木などを倒れたり飛ばされたりしないように補強する。

③ 屋外危険物を固定する

プロパンガスのボンベや灯油タンクなどの屋外の危険物は、しっかりと固定する。

④ 危険物の漏えい

灯油や薬品などの危険物が、物置などから漏れ出さないよう厳重に管理する。

⑤ 浸水を想定し必要なものを高所へ移動する

非常持出品・備蓄品を確認し、日用品や家財道具などを高い場所に移す。

⑥ 防災情報に耳を傾ける

防災関係の情報に気を配る。停電のときに便利な携帯ラジオを用意し、電池は多めに用意しておく。

⑦ 水位に注意する

市街地では、風呂などからの排水を最小限に抑える。川や用水路などの水位に注意する。

⑧ 土砂災害の危険性

がけ地や川べりには近づかない。地盤がゆるみ、がけ崩れや堤防の決壊が起こりやすい。

⑨ 地下は浸水のおそれがある

地下室は避難場所としない。地震には強いが、大雨などの水害時は浸水するおそれがある。

⑩ 避難の指示、自主避難

危険を感じたり、防災関係機関から避難の指示がでたときは、すみやかに避難する。